

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

1. 化学品及び会社情報

製品名 : OPTIBENT-1008

用途 : レオロジー添加剤

供給者情報

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社

住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29

電子メールアドレス : info.byk.japan@altana.com

緊急連絡電話番号 : +81 3 4578 9341 (日本語と英語)
+65 3158 1074 (All languages)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分 2A

発がん性 : 区分 1A

生殖毒性 : 区分 2

水生環境有害性 短期 (急
性) : 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H319 強い眼刺激。
H350 発がんのおそれ。
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H402 水生生物に有害。注意書き : **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。**応急措置:**

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間 注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非： 情報無し。
常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
化学名又は一般名： 変性 / 活性ベントナイト

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
ベントナイト	-	>= 70 - < 80
オレフィンスルホン酸ナトリウム	非公開	>= 1 - < 10
石英 (結晶)	14808-60-7	>= 0.1 - < 1

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

4. 応急措置

一般的アドバイス： 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。

吸入した場合： 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合： 石けんと多量の水で洗い流す。
皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合： 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合： 直ちに吐かせ、医師に連絡する。
気道を確保する。

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
医師に対する特別な注意事項 : 情報無し。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

材料は濡れるとすべり易くなる。
製品自体は燃焼しない。

有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
硫黄酸化物

特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。

環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 酸で中和する。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防 : 粉じんの発生を避ける。粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

- 蒸気/粉じんを吸い込まない。
 曝露を避ける—使用前に特別指示を受ける。
 皮膚や眼への接触を避けること。
 個人保護については項目 8 を参照する。
 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
 製品は湿っていると非常に滑りやすくなることがあるので、
 床にこぼさない。
- 接触回避 : 強酸化剤
 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
 使用中は禁煙。
 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
 っすぐ立てておく。
 ラベルの予防措置を遵守する。
 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ
 ならない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 許容濃 度	出典
ベントナイト	-	OEL-M (吸入 性粉じん)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
		OEL-M (総粉 じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
石英 (結晶)	14808-60-7	OEL-C (吸入 性粉じん)	0.03 mg/m ³ (シリカ)	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
	詳細情報: 吸入性結晶質シリカおよび吸入性粉塵は以下の捕集率 R (dae) で捕集された粒子の質量濃度である。 $R (dae) = 0.5 [1 + \exp(-0.06dae)] [1 - F(x)]$ dae: 空気動力学 的粒子径 (μm), $F(x)$: 標準正規変数の累積分布関数 $x = \ln(dae/\Gamma) / \ln(\Sigma)$, \ln 自然対数, $\Gamma = 4.25 \mu m$, $\Sigma = 1.5$, 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されて いる物質。 III. 発がん性分類の前文参照, 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。こ の群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (呼吸性 画分)	0.025 mg/m ³ (シリカ)	ACGIH

- 設備対策 : 防爆型の【換気装置】を使用すること。
 空気濃度を職業暴露基準以下に保つ。

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

保護具

呼吸用保護具 : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
総粉じんの濃度が 10 mg/m³ 以上の場所では防塵マスクが推奨される。

手の保護具
材質

: 保護手袋

備考
眼の保護具

: 適切な手袋を着用すること。
: 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 微粒子不浸透性保護服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 粉末
色 : オフホワイト
臭い : 無臭
臭いのしきい(閾)値 : 非該当

pH : 10.4 (23 ° C)
含有量: 2 %
方法: measured

融点/ 範囲 : 非該当

沸点/沸騰範囲 : $\geq 1,000$ ° C

引火点 : 非該当

蒸発速度 : 非該当

可燃性 (固体、気体) : 粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。

爆発範囲の上限 : 非該当

爆発範囲の下限 : 500 g/m³

蒸気圧 : 非該当

相対ガス密度 : 非該当

比重 : データなし

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

密度	:	データなし
かさ密度	:	600 - 900 kg/m ³
溶解度	:	
水溶性	:	部分的に溶ける
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
発火温度	:	410 ° C Ignition temperature dust cloud
	:	390 ° C Ignition temperature dust layer
分解温度	:	非該当
粘度	:	
粘度(粘性率)	:	非該当
最低爆発粉じん濃度	:	500 g/m ³
粉じん爆発クラス	:	St1

10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	強酸化剤
危険有害な分解生成物	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性（経口） : 備考: データなし

急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg

方法: 計算による方法

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

成分:**ベントナイト:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 420

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.27 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 436

皮膚腐食性／刺激性**成分:****ベントナイト:**

種: ウサギ
方法: OECD 試験ガイドライン 404
結果: 皮膚刺激なし
GLP: 該当

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**製品:**

種: Bovine corneal opacity and permeability assay (BCOP)
結果: 眼に刺激性。
アセスメント: 眼に刺激性。
方法: OECD 試験ガイドライン 437
GLP: 該当

備考: 強い眼刺激。

成分:**ベントナイト:**

種: ウサギ
結果: 眼への刺激なし
方法: OECD 試験ガイドライン 405
GLP: 該当

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品:**

備考: データなし

成分:**ベントナイト:**

試験タイプ: Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

暴露の主経路: 経皮
種: マウス
方法: OECD 試験ガイドライン 429
結果: 皮膚を過敏化させない。

アセスメント: No acute effects have been observed.
備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

生殖細胞変異原性

成分:

ベントナイト:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

: 試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性

: 試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

成分:

ベントナイト:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

成分:

ベントナイト:

アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

反復投与毒性**製品:**

備考: データなし

成分:**ベントナイト:**

備考: データなし

反復投与毒性 - アセスメント : No acute effects have been observed.
備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

詳細情報**製品:**

備考: データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物 :
に対する毒性 : 備考: データなし**成分:****ベントナイト:**魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 16,000 mg/l
曝露時間: 96 hLC50 (海洋生物): 2,800 - 3,200 mg/l
曝露時間: 24 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性 : 曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

藻類に対する毒性 : EC50: > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性**製品:**

生分解性 : 備考: データなし

成分:**ベントナイト:**

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

生体蓄積性**製品:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壌中の移動性**製品:**

移動性 : 備考: Bentonite is almost insoluble and thus presents a low mobility in most soils

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響**製品:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質／混合物は 0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質（PBT）または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質（vPvB）と懸念される物質を含有しておりません。

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
水生生物に有害。

成分:**ベントナイト:**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

生物蓄積性 (vPvB) であるとは見なされない。

生態系に関する追加情報 : 知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

- 残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
- 汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
ナトリウム=アルケンシルホナート (C=14~16) 又はナトリウム=ヒドロキシアルケンシルホナート (C=14~16)	175

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号
シリカ	165-2

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
シリカ	165-2

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

OPTIBENT-1008

製品コード:

版番号 1.2 SDS_APJ_JP

改訂日 2021/09/14

印刷日 2021/09/14

航空法

危険物として規制されていない

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報**その他の略語の全文**

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KEGI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

日付フォーマット : 年/月/日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、本 SDS のデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。